

市内宿泊施設等の「人手不足の実態」を調査 繁忙期の宿泊売上損失額は、約 27.5 億円と試算

観光公社の会員を対象に、アンケート調査を実施

京丹後市内には約 180 軒の宿泊施設があり、例年、夏の海水浴シーズンや冬のカニシーズンには、多くの観光客で賑わいますが、観光客の増加に伴う「人材確保（人手不足）」が課題となっています。

近年は、コロナ禍に伴う従業員の離職や、観光需要の回復後も人材確保が進まない状況に加え、急速なインバウンド需要の拡大などを背景に、人手不足が一層深刻化しています。

こうした状況を踏まえ、京丹後市観光公社では、特に夏季・冬季の繁忙期における人手不足の実態や人材確保に関する課題を把握するため、令和 8 年 4 月から 6 月にかけて、市内の宿泊施設等（公社総会員数 455）を対象に、Google フォームを活用したアンケート調査を実施しました（主に宿泊施設 15 軒から回答）。

当公社が調査の結果をもとに試算したところ、宿泊売上の機会損失は夏季（7～8 月）が約 4.7 億円、冬季（11～3 月）が約 22.8 億円で、年間合計約 27.5 億円という結果に。さらに飲食、土産物、体験、さらには交通機関等の波及観光消費（約 8.2 億円）を含めた地域経済への影響は、総額約 35.7 億円に達すると見込まれます（2025 年の京丹後市全体の観光消費額は、82.6 億円（京丹後市観光振興課調べ））。

なお、人手不足の実態や宿泊売上損失額の試算などの詳細は、別紙をご覧ください。

当観光公社では、この調査結果を今後の人材確保支援などの検討に活用していきます。



海の京都

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都 DMO）
京丹後地域本部（通称：京丹後市観光公社） 事務局（担当：フィンリー）

電話 0772-72-6070 / FAX 0772-72-0822

URL <https://www.kyotango.gr.jp/> E-mail info@kyotango.gr.jp

